

■問い合わせ 財政課 ☎44-3628

□ www.city.gose.nara.jp/2930.html

※掲載している数値および割合は端数調整を行っています。

令和3年度の一般会計決算は、歳入173億6,427万円、歳出162億625万円、差引11億5,802万円で、翌年度への繰越事業に伴う繰越財源564万円を差し引いた実質収支額は、11億5,238万円の黒字となりました。

一般会計決算

歳入	歳出	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
173億6,427万円	162億625万円	564万円	11億5,238万円

みなさんに納めていただいた税金は28億2,542万円で、軽自動車税と市たばこ税は増加しましたが、市民税や固定資産税等は減少し、市税全体としては前年度と比較して427万円減少しました。また、国から交付される地方交付税は前年度より5億9,769万円増加し、市が自由に使えるお金が増えました。

令和3年度 会計別決算額

〔△はマイナスを表します。〕

会計名	歳入 A	歳出 B	差引 C (= A - B)	繰越額 D	実質収支額 E (= C - D)	
一般会計	173億6,427万円	162億 625万円	11億5,802万円	564万円	11億5,238万円	
特別会計	国民健康保険	31億8,569万円	32億8,057万円	△9,488万円	0円	△9,488万円
	学校給食費	7,006万円	7,181万円	△175万円	0円	△175万円
	国民宿舎葛城高原ロッジ	7,375万円	7,375万円	0円	0円	0円
	介護保険事業	36億8,671万円	35億3,610万円	1億5,061万円	0円	1億5,061万円
	後期高齢者医療保険事業	4億7,462万円	4億7,430万円	32万円	0円	32万円
企業会計	会計名	収入 A	支出 B	当年度純利益 C (= A - B)	前年度繰越利益剰余金 D	当年度未処分利益剰余金(※) E (= C + D)
	水道事業会計(収益的収支)	7億5,799万円	8億3,050万円	△7,251万円	3億6,096万円	2億8,845万円
	下水道事業会計(収益的収支)	5億8,494万円	5億 221万円	8,273万円	1億1,632万円	1億9,905万円

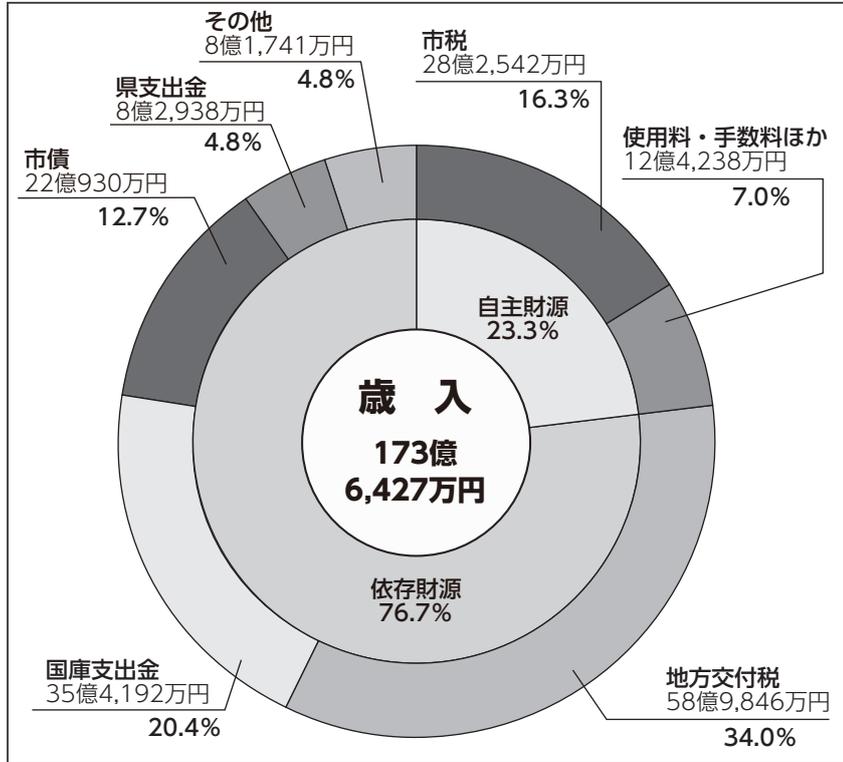
(※) 利益剰余金は、現金・預金残高だけでなく、土地、建物、機械、構築物等の有形固定資産を含んでいます。

▶特別会計・企業会計について

特定の事業を行い、一般会計とは別に会計を行うのが特別会計です。企業会計とは経済活動を一定の方式によって行う会計で、御所市では水道事業会計および下水道事業会計がこれにあたります。

令和3年度「一般会計決算」の内訳をお知らせします。

歳入総額 173億6,427万円



◎歳入

…市に入ったお金 (収入)

- 市税…市に納めていただいた税金
- 地方交付税…国が徴収した税金 (所得税など) の中から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 国庫支出金・県支出金…市が行った特定の事業に対して国や県から受けたお金
- 市債…大きな事業を行うときに、国、県および金融機関などから借り入れたお金

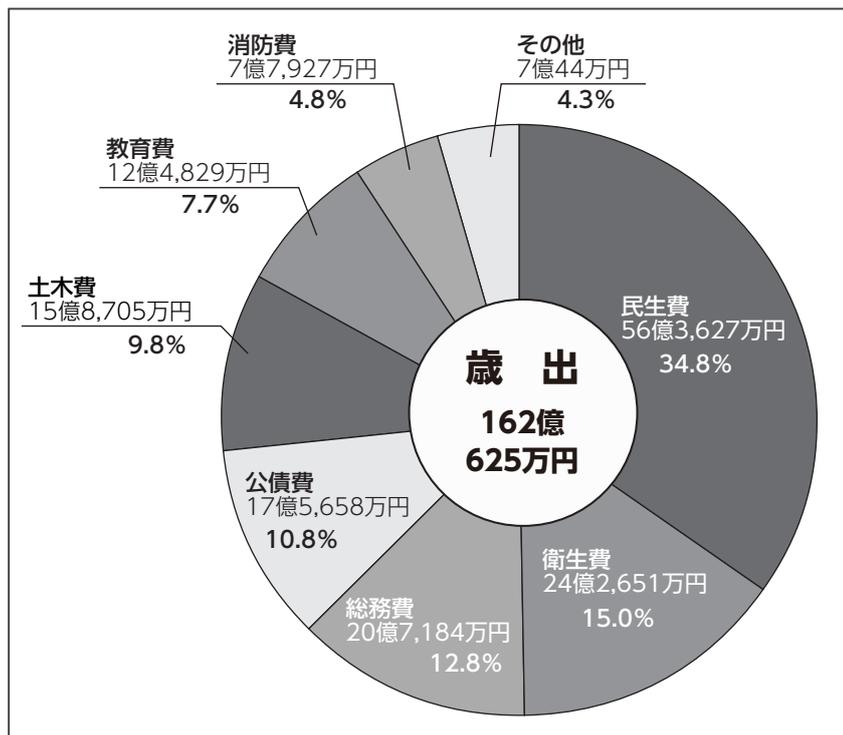
☆自主財源

…市が自主的に収入できたお金

☆依存財源

…国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたお金

歳出総額 162億625万円



◎歳出

…市が使ったお金 (支出)

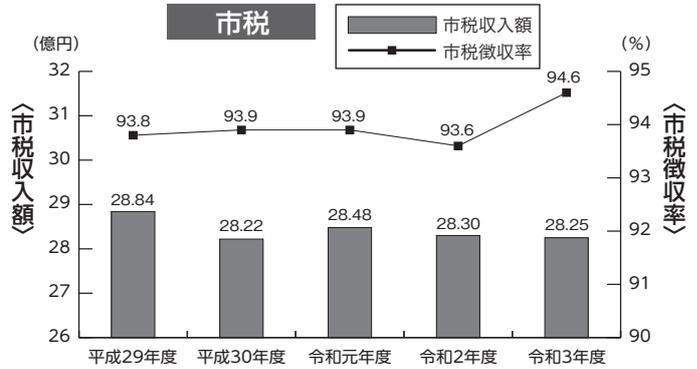
- 民生費…高齢者、障害者、児童などの医療・福祉などに使ったお金
- 衛生費…保健衛生、健康管理、ごみ処理などの環境衛生に使ったお金
- 総務費…市役所の管理運営、課税徴収、住民窓口、選挙、統計などの事務に使ったお金
- 公債費…市債 (借金) を返済するために支払ったお金
- 土木費…道路、公園、市営住宅などの整備や事務に使ったお金
- 教育費…小・中学校、幼稚園、社会教育、文化施設などに使ったお金
- 消防費…消防・防災活動に使ったお金

《一般会計》
市税・市債残高・基金残高から見る

財政状況

市税の状況

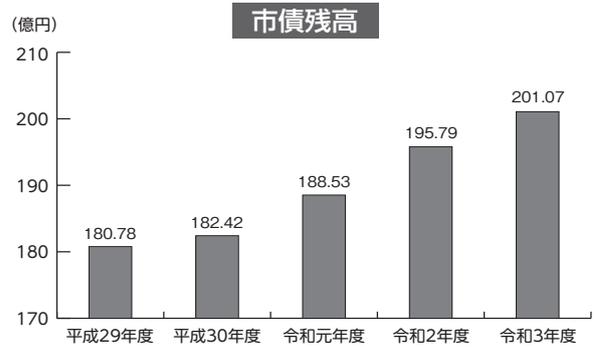
御所市の税には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・都市計画税があります。令和3年度においては、軽自動車税と市たばこ税は増加しましたが、市民税や固定資産税等が減少しました。その結果、市税全体では、昨年度と比較して427万円の減収となりました。



市債残高の状況

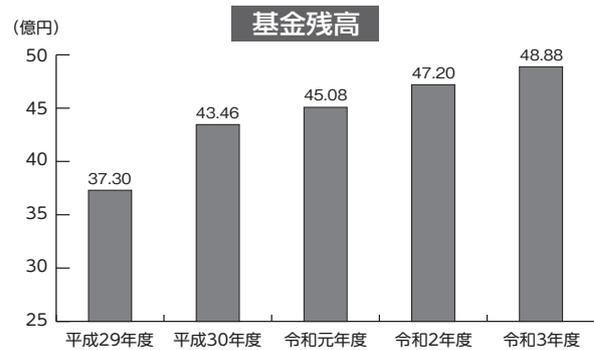
市債残高は、平成28年度までは新規発行の抑制や繰上償還の実施により減少傾向にありました。

しかしながら、令和3年度においては、火葬場や(仮称)防災市民センターの整備等のため、新たに22億930万円を発行し、16億8,085万円を償還したため、発行額が償還額を上回り、残高は201億709万円となりました。



基金残高の状況

市の貯金である基金は、令和3年度末残高は48億8,800万円となりました。



各種指標から見る 財政の健全度

令和3年度の一般会計の実質収支は黒字となりましたが、果たして健全な財政運営ができているのでしょうか？いろいろな指標を使って見てみましょう。

※「早期健全化基準」とは、いわゆるイエローカードのことで、この基準を超えると「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化に取り組まなければなりません。

健全化判断比率	項目	内容	令和3年度(御所市)	早期健全化基準(※)
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	—	13.71%
	連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	—	18.71%
	実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	11.3%	25.0%
	将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	86.3%	350.0%

御所市の「健全化判断比率」は早期健全化基準以下となっています。

◎ 経常収支比率 94.2% ◎

経常収支比率とは、経常的な収入で経常的な支出をまかなえているかを判断するための指標です。この比率が100%を超えると臨時的収入（特別交付税等）を経常的な支出に充てたり、基金（貯金）の取り崩しが必要な状況となります。令和3年度決算の経常収支比率は94.2%で、前年度の101.1%から100%以下に改善できました。

令和3年度に実施した主な事業（一般会計）

民生費	
子ども食堂応援補助金	58万円
市内の子ども食堂を運営している団体に補助金を交付しました。	
低所得の子育て世帯に対する 子育て世帯生活支援特別給付金	3,910万円
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、所得の少ない子育て世帯に対し特別給付金を支給しました。	
子育て世帯への臨時特別給付金	2億5,520万円
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯に対し臨時特別給付金を支給しました。	

総務費	
本庁舎外壁改修工事	1億4,900万円
劣化による外壁の剥がれ等の落下を防止するための工事を行いました。	

衛生費	
新型コロナウイルス ワクチン接種事業	3億8,386万円
5～11歳(小児用)および12歳以上への新型コロナウイルスワクチン接種を実施するための体制を整備しました。	
	
産後ケア事業	51万円
産後の心身の不調または育児の不安があり、家族等のサポートが得られにくい人に、宿泊やデイサービスを通して休養の機会を提供し、心身のサポートを図りました。	
火葬場建設事業	3億4,436万円
火葬場を整備するための建設工事等を行いました。	

農林業費	
総合治水対策事業	6,147万円
緊急内水対策としての今住調整池整備工事および、大和川流域総合治水対策の一環として次期候補池の測量設計等を行いました。	

商工費	
感染症対策地域応援振興券事業	1億8,663万円
新型コロナウイルス感染症の拡大による市内事業所への影響を緩和するとともに、市内での消費促進による地域活性化のため、御所市地域応援振興券を発行しました。	
ディスカバーごせキャンペーン事業	297万円
新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要の回復を図るとともに、奈良県民に対して御所市の魅力再認識の機会を設けることを目的として、県の制度に加えた施設等利用料の補助を行いました。	

土木費	
産業集積地整備関連事業	1億6,942万円
御所IC周辺での産業集積地整備関連事業に係る道路等の用地買収等を行いました。	

消防費	
消防団車庫改築工事	6,355万円
老朽化した消防団車庫の改築工事を行いました。	
避難所誘導灯設置工事	924万円
避難所の位置を示すための照明灯を御所小学校・中央公民館等の公共施設4か所に設置しました。	
(仮称)防災市民センター建設事業	2億263万円
市民に安全安心な行政サービスの提供と市民生活の向上のために、地域の防災拠点となる(仮称)防災市民センター建設のための設計業務等を行いました。	

教育費	
秋津地区・巨勢山古墳群整備事業	4,356万円
平成14年に国の史跡に指定された巨勢山古墳群について、将来的に史跡公園として整備するための土地購入等を行いました。	
金剛葛城山下一周駅伝大会事業	240万円
令和4年2月6日に開催予定であった第74回金剛葛城山下一周駅伝大会が延期となったため、代替として金剛葛城山下一周GPS駅伝を実施しました。	
プール開放事業	389万円
市内の小学生を対象に学校プールを開放しました。	

令和3年度 一般会計決算額を 市民1人あたりで 見てみると...

令和3年度一般会計決算額を、住民基本台帳人口2万4,339人（令和4年3月31日現在）で割り、市民1人あたりの収入やかかった経費（支出）を算出しました。

収入	71万3,434円	(内、市税収入額11万6,086円)
支出【経費】	66万5,855円	(内訳)
		民生費 23万1,574円
		衛生費 9万9,696円
		総務費 8万5,124円
		公債費 7万2,172円
		土木費 6万5,206円
		教育費 5万1,288円
		消防費 3万2,017円
		その他 2万8,778円

